

## Q1: 「主体的に学習に取り組む態度」は、どうやって評価したらよいのでしょうか。

A1: 「主体的に学習に取り組む態度」は、粘り強い取組を行おうとする側面と自らの学習を調整しようとする側面との両面から評価することが求められます。

### 粘り強い取組を行おうとする側面(例)

いわば  
**量**

- ◆時間をかけて一生懸命取り組む姿
- ◆諦めずに最後までやり遂げる姿

### 自ら学習を調整しようとする側面(例)

いわば  
**質**

- ◆自分の学習状況を自己診断する姿
- ◆難しい学習ができるようになる方法を自分なりに工夫したり、人に聞いたりする姿

右の図に示した子供たちは、それぞれどのような実態であると考えられますか？

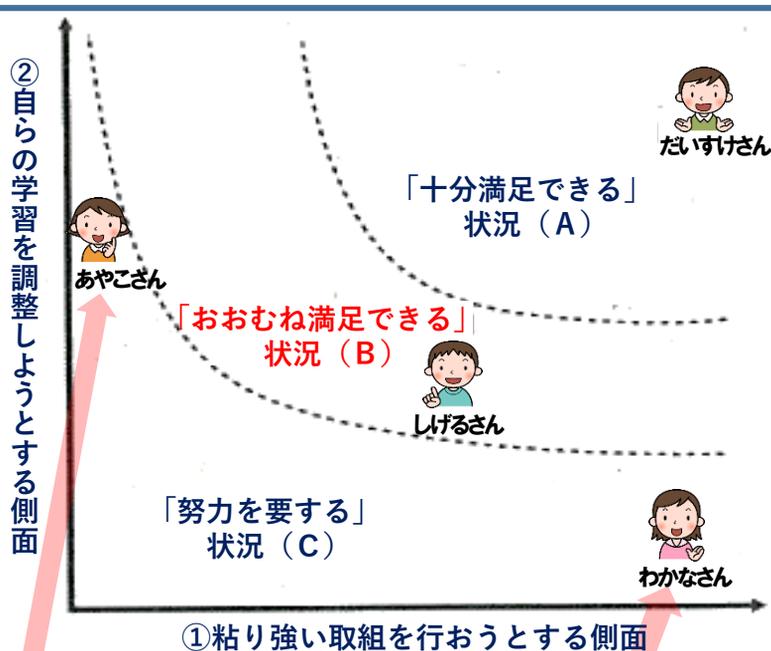


図: 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

文部科学省・国立教育政策研究所教育課程研究センター  
「学習評価の在り方ハンドブック(小・中学校編)」より



### 「あやこさん」と「わかなさん」の具体的な姿について考えてみましょう。



(例) 自分の苦手な分野を自覚し、学習方法を工夫しながら効果的に学習を進めているが、長続きしない。



(例) 与えられた課題は時間がかかってもやり遂げるが、やりっぱなしで終わってしまい、何ができて何ができていないのかという自覚ができない。

「しげるさん」と「だいすけさん」はどんな姿でしょうか。ぜひ考えてみてください。

## Q2: 「自ら学習を調整しようとする側面」を評価する上で、大切なことは何でしょうか。

A2: 「自ら学習を調整しようとする側面」では、自分の学習状況を自己判断し、学習を改善するための工夫を行う姿などを評価しますが、そういった姿は個人任せではなかなか表出てきません。そのため、まずは学び方等について丁寧に指導し、その上で評価を行うことが大切です。

### 「自ら学習を調整しようとする側面」についての指導例

#### ステップ①

学び方や学習計画の立て方等についてのモデルや好事例を示す。

#### ステップ②

振り返りを充実し、子供たちが自分の学習状況を自覚できるようにする。

#### ステップ③

一人一人の「自ら学習を調整しようとする側面」を具体的に見取り、評価する。

#### ステップ④

評価の結果をフィードバックし、適宜アドバイスや支援を行う。

方法の押しつけにならないよう、提案する形で示すことが有効です。

